



来島公民館の主催で、「しまねガムラン楽団公演」が9月24日に来島交流センターで開催されました。  
ガムランはインドネシアの民族音楽で、公演ではジャワの踊りや民族楽器の演奏、影絵のパフォーマンスがあり、青銅器の独特の音色が会場に響き渡りました。  
9月22日には、来島小学校の全校児童を対象に、シタールという楽器奏者による演奏と楽器遊びが行われました。普段触れることのない音楽と楽器を体験できるいい機会となりました。



インドネシアの音楽に触れて  
しまねガムラン楽団公演



9.22(金)  
9.24(日)

民族衣装を身に纏った演者による本格的な演奏に、参加者も聞き入ります

成人式から10年の節目となる、今年度30歳(平成5年度生まれ)を迎える方が対象の「30歳の集い」が頼原の「やまなみ」で開催されました。  
同級生有志の実行委員会が企画し、今は飯南町を離れて生活している人が多く、ふるさと飯南町のことを考えてもらう機会を作るため開催。24人が出席し、近況や昔話に花を咲かせました。  
参加者からは「久しぶりに会う友達もいて、いい機会となった。今度は40歳になった時にも集まりたいです」との声が聞かれました。



久しぶりの再会に笑顔  
30歳の集い



9.17(日)

全員、お揃いのTシャツで記念撮影



来島ダムで体長1.1メートル、重さ2.9キログラムの巨大なウナギが釣り上げられました。  
このウナギは島根大学の研究室でのDNA鑑定で、ニホンウナギであることが確認されており、在来種のニホンウナギとしては、国内最大級です。  
釣り上げた藤川佳成さん(野萱)は、「20年釣りをしてきて、これだけの大物は初めて。ウナギは子どもたちが見られるように展示してほしい」と話していました。



来島ダムの主?  
国内最大級のニホンウナギ



9.7(木)

350ミリリットルの缶との比較。かなりの大きさです

道の駅赤来高原横の駐車場で「第2回昭和の車in飯南町」が開催されました。  
当日は、中国5県を中心に220台の昭和レトロ車が集結。多くの来場者で賑わいました。  
イベントを開催した「飯南旧車倶楽部」の櫻井正成さん(赤名)は、「旧車以外にもめるとイベントも4回目。道の駅や周りの飲食店のお客さんが増えているようで、うれしい」と話していました。  
エントリー費の一部は町に寄附され、まちづくりに活用予定です。



中四国から旧車が集結  
昭和の車in飯南町



9.17(日)

多くの来場者がカメラや携帯を手に、会場を訪れました



安全運転を心掛けて、パレードに出発



交通ルール順守に向けて  
秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動に合わせて、町内各所で交通安全ののぼり旗が設置され、啓発活動が行われました。  
21日には、森島建設・赤来ライオンズクラブが「交通安全パレード」を実施。交通安全ののぼり旗を取り付けた軽トラで安全運転を呼びかけました。  
25日には、雲南地区交通安全協会飯南支部が、国道54号の歩道で、「早めのライト点灯」を呼びかけました。  
また、29日には飯南ワイルドボアーズが、道の駅頼原で無事故呼びかけ運動を行いました。



お揃いの反射板を手首に巻いて



りんごやしめ縄を配って安全運転を呼びかけ

9.21(木)~30(土)



志々公民館に若者が集合  
わらべの学校卒業生会

志々公民館が平成8年から取り組む、小学生対象事業「わらべの学校」の卒業生を対象に「わらべの学校卒業生会」が開催されました。  
このイベントは、わらべの学校卒業生11人が企画。若者の転出や町内在住の若者同士の交流も少ない現状の中、「若者同士の繋がりがづくり」「ふるさと志々と関わるきっかけづくり」「若者が集って楽しめる」ことが目的です。  
当日は志々地区に住む若者をはじめ、遠くは東京から23人が集まり、久しぶりに会う友達、他年代の卒業生との交流を楽しみました。



志々小150周年記念式典で展示予定のメッセージボードを制作



卒業生の主張として、一人一人メッセージを記入



童心に帰って遊具で写真撮影

9.16(土)